

\*\*2014年3月改訂（第6版）  
\*2008年9月改訂（第5版）

貯法：遮光した気密容器に入れ保存  
薬効分類名：外用殺菌消毒剤  
販売名：エタノール「アマカス」

日本標準商品分類番号	
872615	
承認番号	(61AM) 1986
薬価収載	1986年3月
販売開始	1986年3月
再評価結果	1982年8月

## 日本薬局方 エタノール

### Ethanol

#### 【禁忌】

次の部位には使用しないこと  
損傷皮膚及び粘膜 [ 損傷皮膚及び粘膜への使用により  
刺激作用を有する ]

#### 【組成・性状】

エタノール (  $C_2H_6O$  : 46.07 ) 95.1 ~ 96.9 vol %  
を含む (15 °C・比重による)。無色澄明の液である。水と  
混和する。燃えやすく、点火するとき、淡青色の炎をあげ  
て燃える。揮発性である。

比重  $d_{15}^{15}$  : 0.809 ~ 0.816

#### 【効能・効果】

手指・皮膚の消毒、手術部位（手術野）の皮膚の消毒、医  
療用具の消毒

#### 【用法・用量】

本品 830 mL を精製水でうすめて 1,000 mL とし、これ  
を消毒部位に塗布する。

#### 【使用上の注意】

##### 1. 重要な基本的注意

- (1) 原液又は濃厚液は刺激作用があるので経口投与しないこと。
- (2) 眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には水でよく洗い流すこと。
- (3) 広範囲又は長時間使用する場合には蒸気の吸入に注意すること。
- (4) 同一部位に反復使用した場合には脱脂などによる皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。

##### 2. 副作用

使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明	注意
過敏症	発疹等	このような症状が現れた場合は使用を中止すること
皮膚	刺激症状	このような症状が現れた場合は使用を中止すること

#### 3. 適用上の注意

##### (1) 投与経路：

外用にのみ使用すること。

##### (2) 使用時：

- 1 血清、膿汁などの蛋白質を凝固させ内部にまで浸透しないことがあるので、医療用具などに用いる場合には十分に洗い落としてから使用すること。
- 2 引火性があるため、火気、静電気及び電気メスの使用時には十分注意すること。

##### 4. その他の注意

承認外の経皮的エタノール注入療法 (PEIT) 使用例で、注入時の疼痛、酩酊感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

#### 【薬効薬理】

本品は、使用濃度において栄養型細菌（グラム陽性菌、グラム陰性菌）、酵母菌、ウイルスなどには有効であるが、芽胞（炭疽菌、破傷風菌など）及び一部のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

#### 【取扱上の注意】

1. 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には、腐食を防止するために 0.2 ~ 1.0 % の亜硝酸ナトリウムを添加すること。
2. 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテルなどには変質するものがあるので、長時間浸漬しないこと。

[包装単位] 500 mL

[文献請求先] 甘糟化学産業株式会社 学術部

[製造販売元] \*\*東京都中央区日本橋本町 1-5-9  
甘糟化学産業株式会社

\*\*2014年3月改訂（第6版）  
\*2008年9月改訂（第5版）

貯法：遮光した気密容器に入れ保存  
\*\*使用期限：2年（容器に表示の使用期限を参照）  
薬効分類名：外用殺菌消毒剤  
販売名：エタノール「アマカス」

日本標準商品分類番号	
872615	
承認番号	(61AM) 1986
薬価収載	1986年3月
販売開始	1986年3月
再評価結果	1982年8月

## 日本薬局方 エタノール

### Ethanol

#### 【禁忌】

次の部位には使用しないこと  
損傷皮膚及び粘膜 [ 損傷皮膚及び粘膜への使用により  
刺激作用を有する ]

#### 【組成・性状】

エタノール (  $C_2H_6O$  : 46.07 ) 95.1 ~ 96.9 vol %  
を含む (15 °C・比重による)。無色澄明の液である。水と  
混和する。燃えやすく、点火するとき、淡青色の炎をあげ  
て燃える。揮発性である。

比重  $d_{15}^{15}$  : 0.809 ~ 0.816

#### 【効能・効果】

手指・皮膚の消毒、手術部位（手術野）の皮膚の消毒、医  
療用具の消毒

#### 【用法・用量】

本品 830 mL を精製水でうすめて 1,000 mL とし、これ  
を消毒部位に塗布する。

#### 【使用上の注意】

##### 1. 重要な基本的注意

- (1) 原液又は濃厚液は刺激作用があるので経口投与しないこと。
- (2) 眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には水でよく洗い流すこと。
- (3) 広範囲又は長時間使用する場合には蒸気の吸入に注意すること。
- (4) 同一部位に反復使用した場合には脱脂などによる皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。

##### 2. 副作用

使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明	注意
過敏症	発疹等	このような症状が現れた場合は使用を中止すること
皮膚	刺激症状	このような症状が現れた場合は使用を中止すること

#### 3. 適用上の注意

##### (1) 投与経路：

外用にのみ使用すること。

##### (2) 使用時：

- 1 血清、膿汁などの蛋白質を凝固させ内部にまで浸透しないことがあるので、医療用具などに用いる場合には十分に洗い落としてから使用すること。
- 2 引火性があるため、火気、静電気及び電気メスの使用時には十分注意すること。

##### 4. その他の注意

承認外の経皮的エタノール注入療法 (PEIT) 使用例で、注入時の疼痛、酩酊感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

#### 【薬効薬理】

本品は、使用濃度において栄養型細菌（グラム陽性菌、グラム陰性菌）、酵母菌、ウイルスなどには有効であるが、芽胞（炭疽菌、破傷風菌など）及び一部のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

#### 【取扱上の注意】

1. 金属器具を長時間浸漬する必要がある場合には、腐食を防止するために 0.2 ~ 1.0 % の亜硝酸ナトリウムを添加すること。
2. 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具、鏡器具、塗装カテーテルなどには変質するものがあるので、長時間浸漬しないこと。

[包装単位] 16L

[文献請求先] 甘糟化学産業株式会社 学術部

[製造販売元] \*\*東京都中央区日本橋本町 1-5-9  
甘糟化学産業株式会社